

## 11月定例会の議決結果

平成21年第7回定例会は、11月24日から12月11日までの18日間にわたって開かれ、市長提出議案69件、議員提出の条例1件、意見書2件及び請願4件について、それぞれ審議決定しました。

そのほか、専決処分の報告4件などがありました。

議案番号	件名	付託委員会	審議結果
第131号議案	固定資産評価審査委員会の委員の選任について	委員会付託省略	同意
第132号議案	長崎市議会議員及び長崎市長の選挙における選挙運動用自動車の使用及び選挙運動用ポスターの作成の公営に関する条例の一部を改正する条例	総務委員会	原案可決
第133号議案	議会の議員その他非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例の一部を改正する条例	〃	〃
第134号議案	市長及び副市長の給与に関する条例の一部を改正する条例	〃	〃
第135号議案	一般職の職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例	〃	〃
第136号議案	長崎市立幼稚園条例の一部を改正する条例	厚生委員会	〃
第137号議案	長崎市立保育所条例の一部を改正する条例	〃	〃
第138号議案	長崎市夜間急患センター条例の一部を改正する条例	〃	〃
第139号議案	長崎市いこいの里条例の一部を改正する条例	文教経済委員会	〃
第140号議案	長崎市二輪車等駐車場条例の一部を改正する条例	建設水道委員会	〃
第141号～ 第187号議案	公の施設の指定管理者の指定について (※)	所管の各常任委員会	〃
第188号議案	公の施設の区域外設置に関する協議について(西海市農業用道路)	文教経済委員会	〃
第189号議案	土地の取得について(伊王島町1丁目)	〃	〃
第190号議案	法律上市の義務に属する損害賠償の額の決定及び和解について(違法な行政指導による損害賠償)	建設水道委員会	原案否決
第191号議案	平成21年度長崎市一般会計補正予算(第5号)	所管の各常任委員会	原案可決
第192号議案	平成21年度長崎市一般会計補正予算(第6号)	〃	修正可決
第193号議案	平成21年度長崎市観光施設事業特別会計補正予算(第2号)	文教経済委員会	原案可決
第194号議案	平成21年度長崎市国民健康保険事業特別会計補正予算(第2号)	厚生委員会	〃
第195号議案	平成21年度長崎市駐車場事業特別会計補正予算(第1号)	建設水道委員会	〃
第196号議案	平成21年度長崎市介護保険事業特別会計補正予算(第3号)	厚生委員会	〃
第197号議案	平成21年度長崎市診療所事業特別会計補正予算(第1号)	〃	〃
第198号議案	工事の請負契約の一部変更について(市道西泊町線隣接法面崩落対策工事)	総務委員会	〃
第199号議案	平成21年度長崎市一般会計補正予算(第7号)	所管の各常任委員会	〃
議第13号議案	長崎市議会委員会条例の一部を改正する条例	委員会付託省略	〃
議第14号議案	「ヒロシマ・ナガサキ議定書」のNPT再検討会議での採択に向けた取り組みを求める意見書について (※)	〃	可決
議第15号議案	改正貸金業法の早期完全施行等を求める意見書について (※)	〃	〃
請願第7号	改正貸金業法の早期完全施行等を求める請願について	厚生委員会	採択
請願第8号	長崎市立桜ヶ丘幼稚園の廃園方針見直しに関する請願について	〃	不採択
請願第9号	2010年度年金の減額改定を回避するよう求める請願について	〃	〃
請願第10号	長崎市立保育所の存続を求める請願について	〃	〃

(※) 公の施設の指定管理者の指定及び意見書の詳しい内容については、長崎市議会ホームページでご覧いただけます。

## 委員会 審査の 主要内容

11月定例会  
における各常  
任委員会の主  
な議案の審査  
状況は、次の  
とおりです。

## 総務委員会

### 一般職の職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例を可決

今回の改正は、国家公務員の給与が改正される予定であることから、本市の職員についても給料月額並びに期末手当及び勤勉手当の支給割合を改正しようとするものです。

委員会では、職員給与引き下げの本市への影響などについて慎重に審査しました。

その結果、職員給与の削減に反対する立場から賛成できないなどの反対意見が出されましたが、採決の結果、原案のとおり可決しました。

そのほか、市長、副市長、議会の議員、教育長、常勤の監査委員、上下水道事業管理者及び病院事業管理者の期末手当の支給割合についても同様の措置を講じ、バイオラボ株式会社に対する奨励金の交付に関し任命権者としての責任により市長の給与を減額しようとするための「市長及び副市長の給与に関する条例の一部を改正する条例」については全会一致で可決しました。

## 厚生委員会

### 長崎市立幼稚園条例の一部を改正する条例を可決

今回の改正は、入園する幼児の数が減少していること等を勘案し、桜ヶ丘幼稚園を廃止しようとするものです。

委員会では、桜ヶ丘幼稚園の今後のあり方に係る協議会に対する市の考え方、公的幼児教育の確保に対する考え方などについて、慎重に審査しました。その結果、地域住民との合意形成は行われておらず、地域住民と真摯に話し合いを行うべきであるとの反対意見が出されました。

一方、廃止後の公的幼児教育の機能は、市立長崎幼稚園において補完されることから、必ずしもサービスの低下につながるものではないと考えていること、今後も引き続き同協議会等において協議を行い、当該地域の子育て支援に係るサービスの低下がないよう十分配慮してほしいとの要望を付す賛成意見が出され、採決の結果、賛成多数で原案を可決しました。

そのほか、戸町保育所、山里保育所及び小ヶ倉保育所を廃止しようとする議案などを原案どおり可決しました。

## 文教経済委員会

### 科学館の管理に係る「公の施設の指定管理者の指定について」を可決

委員会では、指定管理者制度導入後における再委託業者の状況、利用料金制度を導入する考え方などについて慎重に審査しました。

その結果、科学館は、自然科学に対する興味・関心を育ててきた施設であり、民間企業では、採算性を重視し、商業ベースにならざるを得ないと考えることから、直営で運営すべきであるとの反対意見が出されました。

一方、民間ノウハウを活用して利用者の増加に努めてほしい。指定管理者が業務を再委託する場合は、地元業者を最優先にしてほしいとの要望を付した賛成意見が出され、採決の結果、賛成多数で原案を可決しました。

そのほか、ブリックホールなどの施設の管理を行わせるための議案などを原案どおり可決しました。



長崎市科学館

## 建設水道委員会

### 「法律上市の義務に属する損害賠償の額の決定及び和解について」を否決

委員会では、本市職員が斜面市街地再生事業等において、用地買収の範囲や時期が明確でない段階で、妥当性を欠く指導を行ったために、他人に損害を与えた事件について、裁判によらないで、被害者に対して損害を賠償し、和解しようとした理由などについて慎重に審査しました。

その結果、市に原因があれば損害賠償を行うのは当然であるが、公金支出の透明性の確保からも、裁判や調停による決定に基づいて賠償するべきであることを主な論拠とする反対意見が出されました。

一方、裁判等によらず、行政に100%の過失があると認めるケースはあり得ないことではなく、今後の再発防止策として、用地交渉に当たっては、必ず複数の職員で対応することや、相手方との交渉過程については、必ず記録し、市民や議会に対して説明責任を果たせるようにしてほしいとの要望を付した賛成意見が出されましたが、採決の結果、賛成少数で原案を否決しました。

## 全員協議会

11月24日に「オリンピック招致可能性の検討について」、全員協議会が開催され、議員と市長との間で質疑が交わされました。詳しい内容は次のとおりです。

本市が広島市とともに2020年の夏季オリンピック招致の検討を表明しましたが、本件については、市民の関心も非常に高く、長崎市議会としても市長から説明を受けるべきであると判断し、11月24日に「オリンピック招致可能性の検討について」全員協議会が開催されました。全員協議会では、市長から、オリンピック誘致検討に至る経緯、オリンピックの開催意義及び今後のスケジュールなどについて説明を受けた後、議員からは、オリンピック憲章への対応、平和市長会行動計画とオリンピック招致活動との整合性、立候補の可否を判断する基準、本市で開催する場合の費用や内容、市民に対する説明責任などについて質問を行いました。なお、全員協議会の模様は、長崎市議会ホームページからインターネット録画中継でご覧いただけます。



全員協議会の様子

## 決算審査の会期日程及び議決結果

9月18日	〔本会議〕	○決算議案上程、閉会中の委員会に付託
11月9日～10日	〔常任委員会〕	○付託案件審査 (厚生委員会・文教経済委員会・建設水道委員会)
11月11日	〔常任委員会〕	○付託案件審査(建設水道委員会)
11月11日～12日	〔常任委員会〕	○付託案件審査(総務委員会)
11月24日	〔本会議〕	○委員長報告・決算議案結審 ○議員提出議案(附帯決議)を可決

閉会中の各常任委員会に付託されていた平成20年度長崎市一般会計歳入歳出決算等16議案及び附帯決議1件は、11月24日の本会議でそれぞれ認定及び可決しました。

議案番号	件名	付託委員会	審議結果
第115号議案	平成20年度長崎市病院事業会計決算	厚生委員会	認定
第116号議案	平成20年度長崎市水道事業会計決算	建設水道委員会	〃
第117号議案	平成20年度長崎市下水道事業会計決算	〃	〃
第118号議案	平成20年度長崎市一般会計歳入歳出決算	所管の各常任委員会	〃(※)
第119号議案	平成20年度長崎市観光施設事業特別会計歳入歳出決算	文教経済委員会	〃
第120号議案	平成20年度長崎市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算	厚生委員会	〃
第121号議案	平成20年度長崎市土地取得特別会計歳入歳出決算	建設水道委員会	〃
第122号議案	平成20年度長崎市中央卸売市場事業特別会計歳入歳出決算	文教経済委員会	〃
第123号議案	平成20年度長崎市駐車場事業特別会計歳入歳出決算	建設水道委員会	〃
第124号議案	平成20年度長崎市財産区特別会計歳入歳出決算	総務委員会	〃
第125号議案	平成20年度長崎市老人保健事業特別会計歳入歳出決算	厚生委員会	〃
第126号議案	平成20年度長崎市母子寡婦福祉資金貸付事業特別会計歳入歳出決算	〃	〃
第127号議案	平成20年度長崎市介護保険事業特別会計歳入歳出決算	〃	〃
第128号議案	平成20年度長崎市生活排水事業特別会計歳入歳出決算	文教経済委員会	〃
第129号議案	平成20年度長崎市診療所事業特別会計歳入歳出決算	厚生委員会	〃
第130号議案	平成20年度長崎市後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出決算	〃	〃
議第12号議案	第118号議案「平成20年度長崎市一般会計歳入歳出決算」のうち、建設水道委員会に付託された部分に対する附帯決議について	委員会付託省略	可決

(※) 建設水道委員会において附帯決議を可決

## 委員会 審査の 主要内容

決算審査に  
おける各常任議  
会委員会の議  
案の審査状況  
は、次のとおり  
です。

## 総務委員会

### 平成20年度長崎市一般会計歳入歳出 決算(総務委員会所管部分)を認定

総務費において、市税の不納欠損額  
の状況、各種委託料の契約方法、自主  
防災組織の結成促進に向けた取り組み  
状況、防災行政無線の整備状況と今後  
の方針などについて慎重に審査しまし  
た。

委員会では、未収金対策費やイン  
ターネット公売推進費の支出には賛成  
できないとの反対意見が出されました。  
一方、限られた財源の中で業務を推  
進するために、効率のよい事務事業の  
総点検を行い節約しながらも生産性の  
高い財政運営を目指してほしい、財政  
指標には若干の好転の兆しを感じられ  
るものの、脆弱な財政力であることに  
変わりはなく、筋肉質で強い財政力を  
築くべく一層の努力を払ってほしいな  
どの要望を付した賛成意見が出され、  
採決の結果、賛成多数で本決算を認定  
しました。

## 厚生委員会

### 平成20年度長崎市一般会計歳入歳出 決算(厚生委員会所管部分)を認定

総務費において、県外原爆展の開催  
都市及び会場の選定方法などについて  
また、民生費において、民生委員の欠  
員数及び欠員が生じた地区への対応状  
況などについて慎重に審査しました。

委員会では、住民基本台帳ネット  
ワークシステムの関連事業費について  
は、個人情報保護の立場から認められ  
ないこと、市立保育所の民間委譲につ  
いては、公立保育所の存続の立場から  
認められないとの反対意見が出されま  
した。

一方、各種がん検診については、検  
診率が向上するよう、今後も継続した  
取り組みを進めてほしい、新政権にお  
いて、子育て支援という観点からさま  
ざまな施策が見直されていることから、  
本市においても市民への周知を初め、  
適切に対応で  
きるようにし  
てほしいとの  
要望を付した  
賛成意見が出  
され、採決の  
結果、賛成多  
数で本決算を  
認定しました。



県外原爆展の様子

## 文教経済委員会

### 平成20年度長崎市一般会計歳入歳出 決算(文教経済委員会所管部分)を 認定

商工費において、バイオラボ社に対  
する企業立地奨励金交付の経緯などに  
ついて慎重に審査しました。

委員会では、本決算には、市が告訴  
しているバイオラボ株式会社に対する  
企業立地奨励金が含まれており、認め  
られないこと、学校給食については、  
直営が原則であり、学校給食費を値上  
げして保護者の負担をふやしたことは  
認められないとの反対意見が出されま  
した。

一方、企業誘致推進事業については、  
制度改正など一定の対策が講じられて  
いるが、不正受給の再発防止には、万  
全の体制を図るとともに、企業誘致が  
減速することがないよう、積極的に取  
り組んでほしい、負担金・補助金の交  
付団体については、繰越金が発生して  
いる団体があることから、次年度の負  
担金・補助金を減額するなどの措置を  
検討してほしいなどの要望を付した賛  
成意見が出され、採決の結果、賛成多  
数で本決算を認定しました。

## 建設水道委員会

### 平成20年度長崎市一般会計歳入歳出 決算(建設水道委員会所管部分)を 認定

土木費において、コミュニティバス  
の効率的な運行に向けての検証状況、  
市営住宅の諸修繕の発注に係る市から  
指定管理者への指導のあり方などに  
ついて慎重に審査しました。

委員会では、長崎県南部広域水道企  
業団繰出金については、本明川ダムを  
前提とした水需給計画であることから  
認められないとの反対意見が出されま  
した。

一方、建築確認申請業務については、  
民間へのさらなる移行に努めてほしい、  
公共交通空白地域のコミュニティバス  
の運行に当たっては、効率化とあわせ  
て住民サービスにも努めてほしいこと  
などの要望を付した賛成意見が出され、  
採決の結果、賛成多数で本決算を認定  
しました。  
なお、今回から実施された政策評価  
の成果指標及び評価対象などの改善を  
求める附帯決議を付すべき旨を全会一  
致で決定しました。